

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

地域の現状：『公営住宅は、住宅に困っている収入の少ない人に対し、低家賃で提供される住宅です。通常、住宅を管理している自治体に居住している所得が一定以内の世帯・単身者でなければ応募できません。さらに、60歳以上の人、心身に障がいのある人、生活保護受給者、DV被がい者などに入居資格が限定されていることが一般的です。詳細は、各自治体、各公社にお問い合わせください。』と、神奈川県の説明にあります。当ケアプラザの主なエリアは上白根町の戸建住宅と横浜市営住宅2,325戸と、961戸のUR住宅です。

市営住宅、URは主に5階建ての集合住宅で築48年を迎え、古くから居住している住民同士のつながりは深いものの、新住民の中には自治会に参加せず状況が不明な方も多くなっています。市営住宅はエレベーター工事が完了しましたが、新旧住民の交流は進んでいないと考えられます。UR、3街区に関しては、エレベーター工事は無いようです。また、今年度より4街区1棟のみリフォームが始まります。一時的な転居に伴う環境の変化により地域住民の状態の悪化が懸念されており、その対応が必要になると考えられます。

課題Ⅰ：見守り

6年前に見守りネットワークのモデル事業が終わりましたが、以降も引き続き地域からの連絡があり、見守り合うことが続いているのは、隣人同士の長い人間関係と助け合いの気持ちによるところが大きいと考えられます。新住民とも同様な見守りがなされるよう支援していきたいと思っております。

課題Ⅱ：ボランティア

次世代の担い手として小、中学生の福祉教育に協力し、高校生にもボランティア活動を通して、地域に関心を持ってもらうよう働きかけています。今年度も中・高のボランティア部の活動を支援していきます。

課題Ⅲ：支援困難ケースへの対応

地域ケア会議も、個人レベル、包括レベル、区レベルと進め、急務と思える、支援困難ケースに対して行政との連携を深め、昨年度に続き、新しい仕組みづくりを話し合う機会を持ちたいと考えています。

(1) 相談（高齢者・子ども・障がい者分野等の情報提供）

- 高齢者・障がい・子ども等幅広い分野の相談について、相談者に情報提供し、必要に応じ関係機関につなぎます。
- 地域の特徴やニーズを把握し、相談や情報提供の手法に反映させます。
- 窓口だけでなく、自主事業・会議等さまざまな場面で相談・情報提供をします。チラシ、広報紙、ホームページ等で周知します。
- 職員は必要な制度施策・社会資源等の情報把握をして適切な支援につなげられるよう対応します。
- 相談事例に対しカンファレンスなどを行い多角的に課題対応します。

(2) 各事業の連携

- 地域包括支援センターの3職種の専門性、地域活動交流コーディネーターの地域とつなぐ力、地域の生活者の視点、生活支援コーディネーターの地域を活性化させる力を取り入れた支援をします。
- 地域包括支援センターが把握した課題（ひとり暮らし高齢者の支援等）をコーディネーターも含めた地域支援関係者等に伝え、地域でできる支援体制や啓発事業などへとつなげます。
- 地域包括支援センター、地域活動交流部門、生活支援体制整備部門で連携し、個別の課題に対応し、ケアプラザ内で共有します。
- 地域の特徴に合わせた取組（新規・拡充、自主事業）をします。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 所長を含む常勤職員の適切な配置を行います（※欠員が発生しないように）。
- 職員の資質向上、人材育成を目的とした研修を実施するとともに、外部研修や実習参加を促し、研修報告の提出、伝達研修等を行います。
- 日々の活動から得た知見を元に、法人内研究発表会や社会福祉学会、看護学会等の研究発表会への参加を促します。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 地域の関連団体や関係機関とのネットワークを強化するため、情報交換や定期的な会議をもちます。
- 民児協、地区社協、連合町内会、教育関係機関、区福祉保健センター、区社会福祉協議会その他福祉保健団体で、地域課題の情報共有とともに地域福祉保健計画を推進する取り組みの支援をします。
- 子育て支援拠点（しゃべり場、子育て相談）、地域生活支援拠点ほっとぽっと（にこにこ会）、NPO法人カプカプ（地域活動支援センター障害者作業所型 カプカプ）等との連携を維持します。
- 支えあいネットワークの特徴的な取組みを継続します。
- SOSローカルネットワークなどエリア内での他機関と連携した見守りのネットワークを維持・強化していきます。

(5) 区行政との協働

- 地域ケアプラザの役割を理解し、区と協働して取り組みます。
 - (1) 地域福祉保健計画
 - (2) 運営方針
 - (3) 区事業等
 - (4) 区包括的・継続的ケアマネジメント支援計画
 - (5) 障害者など社会的弱者への支援
- 支援チーム会議への参加
- 運営協議会の開催
- 自主事業やサロンの開催
- 高齢・障害支援課、生活支援課との連絡会を行います。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 自主事業を通じ、参加者の実情に合わせて福祉保健活動の開発・実施や新たな地域福祉のための取組をします。
- 高齢者だけでなく、子ども・障がい分野の事業を実施し、福祉活動への働きかけを行います。
- 地域の集会所などを利用して講演会、サロン、体力向上プログラム、出前講座などを開催します。
- 他団体の共催なども視野に入れ、自主事業を充実させていきます。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 福祉保健活動団体や地域団体に気持ちよく利用していただくために窓口での気軽なコミュニケーションに努め、相談や要望などが言いやすい環境を整えます。
- 毎週最新の空き室情報の掲示・ホームページの更新をします。メール、電話でのお問い合わせも気持ちよく応じます。
- 各登録団体が利用しやすくなるよう、申込み受付の案内・掃除道具や調理器具の見直しを行います。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ボランティア育成のための取組を継続します。
- 継続してボランティア登録及びコーディネートを行います。
- 区社協ボランティアセンターとの連携を取ります。
- 交流会を開きボランティア同士のネットワーク化を図ります。
- 名簿の整備を継続します。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域における福祉保健活動団体や人材等の社会資源（地区社協・連合町内会・地区民児協・地域のサロンや昼食会等）を把握し情報提供します。
- 区、区社協からの情報提供を受けて積極的に整理・活用します。
- 会議・利用団体等との情報交換から把握したニーズの取りまとめをします。
- 会場利用団体の活動を紹介し交流会を開催します。
- 掲示板のニュースなどを毎日更新、貸室情報を毎週更新、情報紙、事業紹介を毎月更新、ホームページの更新及びその他自主事業の案内など随時行います。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 生活支援体制整備事業に向けて、各地域の現在あるニーズに対し、地域住民の持てる力を最大限発揮できるよう支援を行い、信頼関係を構築する事で圏域での課題に支援に着目し、支え合い協力し合える体制づくりを行います。
- 個別課題への取組状況をケアプラザ内で共有し、地域支援につなげるために地域包括支援センター、地域活動交流部門等と連携します。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 今まで収集した情報と共に、アンケート調査や聞き取り等を更に進め、生活支援ニーズの状況や資源収集を行います。
- 関連機関の会議等で社会資源の情報を共有し、生活支援ニーズの状況やそれに対する資源の状況の情報更新を行います。
- 上記ニーズの情報把握・整理を行い、他職種や他機関連携により更なる情報収集と共に情報共有を行います。
- ニーズ把握に伴い地域毎の課題分析を可視化し、地域支援への取り組みに繋がります。

(3) 連携・協議の場

- アンケート調査時やニーズ把握に対し、他職種連携による検討を行います。
- 課題に相違のある各自治会町内会毎にニーズ抽出を行い、課題把握を行います。地区特性に添った働きかけを行い、必要に応じた協議の場を設けます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 生活支援に向けた取組として第1層生活支援コーディネーターや他職種と連携し、対象機関や人々への働きかけや資源開発に取り組みます。
- 支え合い連絡会を通じた支援チームとの取り組みにより、地域福祉保健計画にある課題に対応します。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- 地域包括ケアシステム構築のため、これまでに培った地域の介護サービス事業者・医療機関・福祉関係機関、自治会、民生委員、行政機関等とのネットワークを地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーターとも協働し、維持強化していきます。
- 関係者一同の迅速な対応と緊密な連携が可能となるよう、地域に共通する課題を共有できるよう努めます。

②実態把握

- 民生委員・児童委員、自治会、老人会、各種事業参加者等からこまめに情報を集め、実態を把握し地域アセスメントを実施します。
- 相談や関係機関からの情報収集などにより、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等を把握します。

③総合相談支援

- 地域アセスメントを行い、実態を把握しながら支援を行います。
- 相談や関係機関からの情報収集などにより、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等を把握します。
- 年間相談件数は、訪問相談 約300件、来所・電話相談 約1,500件を見込んでいます。
- 高齢者・障がい者ほかに関する相談を受け、相談内容を的確に把握します。
- 相談内容に応じて適切な情報を提供し関係機関や制度、事業等につなぎます。
- 相談対応者に対し、必要に応じて継続的にフォローしていきます。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 成年後見制度をはじめ、権利擁護事業や消費者保護など関連する法制度を理解し、区、区社協、関係団体等と連携し支援を行います。
- 成年後見制度等の普及啓発に取り組みます。
- 成年後見制度等の利用も含め、新たな権利擁護の在り方を研究し、研究報告書の関係機関への配布や、学会等の発表を検討し、より良い支援方法の普及に努めます。
- 親族申立支援にあたり手続きなどに関して適切にアドバイスをします。
- 地域の昼食会、民生委員懇談会等で地域の方々へ、旭安全安心かわら版、見守り新鮮情報等の情報提供をし、被害を予防するよう働きかけ、個別の消費者被害の解決支援も行います。
- 振り込め詐欺や消費者被害等を防止すべく広報活動等の取り組みを行います。

②高齢者虐待への対応

- 虐待事例に対し、区と情報や支援の方向性を共有し、区との役割分担に基づき対応し、適切な支援を行います。
- 大学などの研究機関と連携し、情報交換しながら、高齢者虐待に対するより効果的なアプローチ方法の実践に努めます。
- 介護者支援に積極的に取り組みます。
分離後の本人や家族に定期訪問するなど継続的にフォローします。
介護者のつどいを概ね毎月開催し、介護者が孤立しないよう参加を促し、ストレスケアと虐待防止に取り組みます。

③認知症

- 認知症の正しい理解の促進のため、普及啓発等の取り組みをします。
部屋利用団体に対し、必要に応じて認知症講座、地域向けの講座等を開催します。
- アルツハイマーデーに認知症について正しい理解を求める普及啓発に努めます。
- SOSローカルネットワーク（徘徊高齢者検索ネットワーク）の活用で認知症の人と家族が安心して暮らせるように努め、協力機関、店舗との連携を維持し協力機関・店舗を増やしていきます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 地域の民生委員やボランティア団体等とケアマネジャーのネットワーク・支援体制の構築ができるよう、定期的に連絡会を実施します。
- 地域住民が必要とする情報を提供できるよう生活支援コーディネーターと連携し、インフォーマルサービス等の情報収集・整理を行い、把握しやすい形態の資料作成に努めます。
- 『あんしんネットワーク』を継続できるように、地域住民との見守り体制の維持を図ります。また地域の特色を関係事業者に伝え、ネットワークの維持強化と新たな協力機関の開発に努めます。
- 地域ケア会議について、地域特性に合わせ柔軟に運営して行きます。旭区版パンフレット等わかりやすい資料での周知を図ります。各会合が有機的に連携するよう機能を意識して活用します。
- 『あんしんネットワーク』での見守りについては生活援助員とも協力し、ささえあい連絡会等での場の提供・広報・情報提供等に関わります。安否確認に対する迅速な対応を実施します。また、関係各機関の協力が得られるようPRを実施します。

②医療・介護の連携推進支援

- ケアマネジャーと地域の医療機関等との「連携できる関係作り」の為に勉強会等を実施します。
- エリア内の医療機関（在宅療養支援診療所、医療ソーシャルワーカー、薬局等）を訪問し、顔の見える関係作りに努めます。また地域ケア会議についての周知も行います。
- 地域の「医療・介護の社会資源」マップを随時更新し、ケアマネジャーや介護サービス事業所等関係機関への周知に活用します。
- 区域で作成した医療連携ツール『もの忘れ相談シート』や横浜市医療局作成の「入院・退院サポートマップ」「入院時・退院時情報共有シート」を活用し、連携を図れるよう働きかけます。
- 昨年度実施した包括レベル地域ケア会議についての報告会を上白根・今宿西と3地域包括支援センター合同で実施し、訪問看護事業所にも参加を依頼します。また「介護サービス事業所連絡会」には地域の薬局薬剤師にも参加を依頼します。

③ケアマネジャー支援

- ケアマネジャーへの支援体制の構築
 - ・相談への支援を随時実施し関係機関とも協働します。
 - ・ケアマネジメント能力向上に資するよう、事例検討や研修会を開催します。
 - ・新人・就労予定ケアマネジャーに対する研修等の実施を行います。
 - ・サービス担当者会議の開催支援及びスーパーバイズを随時行います。
 - ・支援困難事例、緊急対応時等の支援を随時行います。
 - ・区ケアマネジャー連絡会への支援を実施します。
 - ・ケアマネジャーのスキルアップのためエリア内連絡会や勉強会を実施します。目標 6回。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 居宅介護支援事業所・介護サービス事業所の連絡会を実施し、個別の課題や地域の課題について意見交換や検討を行う機会を設けます。目標 2回
- ケアマネジャー・民生委員との懇談会や勉強会を実施し、顔の見える関係作りと連携の強化を行います。
- 障がい者への支援も多いという地域特性に合わせ、地域課題解決に役立つよう障がい支援機関とのネットワーク作りに努めます。また生活支援課・生活困窮者自立支援事業担当者とも協力し、家計管理等の課題解決が図れるよう連携を致します。
- 関係者に個別地域ケア会議から出席して貰うことで、支援関係機関相互のより強力な関係作りができるように致します。
- 昨年度実施した包括レベル地域ケア会議について報告する機会を設け、地域包括ケアシステムについての普及啓発を行います。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 要支援者の主体性・意欲を引き出し、目標志向型の介護予防ケアマネジメントを行います。
- 委託を行う場合はケアマネジャーと連携し、適切なケアマネジメントが出来るよう契約時等同行訪問面談や担当者会議での助言や、ケアマネジャーに地域資源の情報を提供するなど支援に取り組んでいきます。
- 地域包括支援センターエリア内やブロック毎での介護予防支援業務に関する連絡会・勉強会・情報共有を主任ケアマネジャーと連携して行います。
- 地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと連携し、介護予防に役立つ情報収集、発信に努めます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 高齢者の状態を把握し、介護予防のきっかけになる情報提供や活動への参加を促すとともに、地域の中で介護予防の取組が広がるようにしていきます。
- 介護予防事業や自主事業で育成したグループの自主活動を促し、地域での活動を紹介したりするなど継続した取組を進めます。
- 介護予防の情報の提供、新規参加者を紹介するなどして自主化したグループを継続して支援します。
- 介護予防を行うグループの交流会を行い、エリア内の介護予防活動の拡充に取り組みます。また活動中での課題などを気軽に相談できるように、お互いに顔の見える関係を構築します。
- 地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと連携し、介護予防に役立つ情報収集、発信に努めます。

その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・施設の安全かつ衛生的な維持管理を目指し、保守点検に関すること及び、閉館後のセキュリティ管理を専門業者に委託します。また日常の衛生管理を目的に、皆で清掃・消毒作業を行います。全館清掃、害虫駆除などは外注で行います。エントランス、中庭、広大な斜面の草刈、植栽の剪定等は、危険も伴うためボランティアには依頼できず、外部に依頼せざるを得ない状況です。また、築10年を超えた時から、さまざまな設備が壊れてきました。不具合の程度を見極め、優先順位をつけて修繕を行います。

イ 効率的な運営への取組について

- ・ケアプラザ内の連携を図ることでスムーズな事業の流れを目指します。ケアプラザ委員会（月1回）、各部連絡会(毎週金曜日)ほか、各部門で随時連絡会、ミーティングを持ち、個人情報保護法など、制度に留意しながら、運営上必要な情報の共有化を心がけることで連続性のある包括的な支援体制を維持するよう努めます。
- ・節電を徹底し、水道の使用を控え、ゴミルート回収のために、細かく分別を行う等資源の無駄を省きつつ、良好な環境作りに留意します。
- ・設備については、本年開設15年目を迎えるため不具合箇所が発生する可能性が高まっており、ご利用者へ迷惑をかけないよう、早めの修繕を行っていくよう心がけていきます。昨年同様、優先順位を見極め、予算も考慮し取り組みます。また、備品についても、管理を強化していきます。

ウ 苦情受付体制について

- ・苦情解決責任者は所長、苦情受付担当者として各部主任を決め、第3者委員として運営協議会会長と、上白根地区社会福祉協議会会長を置き、苦情や意見の窓口とします。ご意見ダイアルのポスターとともに館内に掲示し、周知をしています。
- ・挙げられた苦情や要望は苦情事故対応委員会を通してケアプラザ委員会に提出し、解決するよう必要な行動を起こします。
- ・苦情事故対応委員会を毎月開き、各月の報告に対して原因、対応策を話し合い現場にフィードバックすることで再発防止に努力します。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・施設の警備を専門業者と契約し、夜間や早朝、年末年始休館に対応します。
- ・警備中の有事に関しては、ケアプラザ委員会メンバーを中心に必要に応じて緊急連絡網を用い、職員に周知し対応します。
- ・火災等の災害に対しては、防火管理者の立てた防災計画に則り年間2回の防災避難訓練を行い、緊急時に備えます。
- ・大地震への備えとして、横浜市防災計画に沿って地域防災拠点運営委員会との連携を強め、ケアプラザの「特別避難場所開設マニュアル」に沿って行動できるよう、職員に周知し、具体的な研修を行います。
- ・災害時備蓄品の更新を行います。

オ 事故防止への取組について

- ・朝礼で、職員に対して事故への注意、安全への意識付け等を行います。
（祝日を除く月曜日から金曜日8時45分から9時）
- ・ひだまり（高齢者の認知症予防教室）などの事業開始時に、対象者の心身の状態を含む健康状態のチェックを行い、事故が起こらないように留意します。
- ・デイサービスでは、夕方のミーティングで業務内容の確認、反省、見直しをして、事故防止に努めます。ひやりはっとの案件に応じて、実技を伴う研修・勉強会を行います。
- ・職員研修で全員に注意を促し、事故防止に取り組めます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・区役所から提供された資料を基に個人情報保護についての研修を行い、全員の誓約書を区役所に提出します。
- ・新規雇用者へは、初日の研修で同じ資料を用いて理解を深めてもらい、誓約書に署名をしてから、業務についてもらうようにします。
- ・デイサービスでは、夕方のミーティングで確認し、個人情報保護に関してミスのないように、常に敏感であるよう取り組みます。

キ 情報公開への取組について

- ・広報紙、チラシ、掲示板、ホームページ等でケアプラザの事業や取り組みに関する情報を積極的に発信します。
- ・地域に関係する防犯情報、各種講演会などの公的情報等を集め、発信することによって地域の情報窓口としての機能を充実させます。
- ・介護サービス情報の公表制度で、介護サービスの内容や運営状況に関する情報を公表します。

ク 人権啓発への取組について

- ・ 地域住民の尊厳を守り、安全・安心な暮らしをしていただけるよう努めるため、地方自治法第244条及びヘイトスピーチ解消法第2条等に基づきケアプラザの管理運営に努めます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ ゴミルート回収に全職員が協力し所内でのゴミの分別、収集、計測を行います。各部門でゴミを分別し、計量したデータを集計し、職員が週3回燃えるゴミ、週1回不燃ごみ、月1回資源ごみ、年間2回蛍光灯などのマニフェストを作成、業者からの伝票を記録し3ヶ月ごとに担当に報告します。
- ・ 職員は、タオル、ハンカチ持参で、ペーパータオルの節約によるごみ減量、水道の節水、消灯や、冷暖房の温度設定による節電、裏紙使用による紙の節約をします。
- ・ 所内外の美化、整備、衛生に地域活動交流部門の職員を中心に全員で対応します。
- ・ 例年通り、入館者の感染症予防のために、建物入口での消毒液空間噴霧や手指用アルコール消毒器を継続し、感染予防・防止に努めます。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
担当者 5名（常勤兼務4名、非常勤兼務1名）

《目標》

地域の方々が住み慣れた街で安心して暮らすことが出来るように、また一人一人の尊厳が守られ希望を持って過ごせるように介護保険法に基づき介護予防支援を行います。

個別性を尊重し、自律した生活が出来るように支援します。
地域のインフォーマルサービスを活用して地域性に合わせたプランを作成していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則的には実費負担なし。
- 地域外への支援の交通費については応相談

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ケアプラン作成は担当者会議や事業所内でのカンファレンスなどを通じて多角的に支援を検討。地域のボランティア団体や自治会、商店街のネットワークなどの地域資源を紹介して支援につなげます

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
110	110	110	110	110	110
10月	11月	12月	1月	2月	3月
110	110	110	110	110	110

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名
介護支援専門員	常勤専従	1名
	常勤兼務	1名
	非常勤兼務	1名

《目標》

地域の方々が独居、老老介護など困難な状況であっても、住み慣れた自宅で暮らせるよう、安心と信頼を提供します。ご利用者の意思を尊重し、心身の状況、環境などに応じて、自立した日常生活を営むことが出来ることを目指し、支援を行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

● 特に無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域包括支援センター併設事業所として、幅広い相談に柔軟に対応出来るように心掛けます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
95	95	95	95	95	95
10月	11月	12月	1月	2月	3月
95	95	95	95	95	95

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス報告作成 ● 生活相談
- 機能訓練（日常動作訓練） ● 介護サービス ● 健康状態の確認
- 送迎 ● 給食 ● 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

大規模事業所Ⅰ

- 1割負担分（5－7時間） 1回分

（要介護1）	603円
（要介護2）	713円
（要介護3）	823円
（要介護4）	932円
（要介護5）	1041円

- 1割負担分（7－9時間） 1回分

（要介護1）	692円
（要介護2）	817円
（要介護3）	947円
（要介護4）	1077円
（要介護5）	1206円

- 入浴介助 54円
- 認知症加算 65円
- 中重度者ケア体制加算 49円
- 若年性認知症利用者受入加算 65円
- サービス提供体制加算Ⅰ 20円
- 食費負担 750円
- 活け花 600円
- お習字 100～200円
- パット・下着（紙パンツ）代 50～100円

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》

- （5－7） 10:00～15:10
- （7－9） 9:00～16:10

《職員体制》

- 管理者 1名
- 生活相談員 2名
- 看護職員（兼機能訓練指導員） 3名
- 介護職員 18名
- 調理員 5名

《目標》

- 1 デイサービスの支援が必要なご利用者の意欲と生活機能及び生活意欲の維持・向上をめざして、サービスを提供します。
- 2 地域福祉の担い手として責任感を持ち、多様な資源との『繋がり』を大切に『謙虚な気持で』ご利用者及びご家族への支援を実践します。
- 3 ご利用者・ボランティア・職員が、それぞれに《目配り・気配り・心配り》を行う事により更に暖かくご利用者からも地域からも必要とされるデイサービスを目指します。

- あたたかい介護
- 制度に即した運営
- サービスの質の向上
- 情報発信
- 地域社会及び関係各所との連携
- 個人情報の適切な管理

《その他（特徴的な取組、PR等）》

昼食はおいしい選択食（主食、主菜）と、お楽しみ行事食を提供します。
笑顔で迎え、笑顔で送るデイサービス。「来てよかった」「また来たい」と笑顔で過ごしていただけるデイサービス。利用者や家族が安心して利用できるデイサービス。
私たちは、常にサービスの質の向上を意識して日々の業務に取り組みます。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護サービス計画の作成
- 生活相談
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 介護サービス
- 健康状態の確認
- 送迎
- 給食
- 入浴
- 生活機能向上グループ

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （事業対象者） 1766円／月
 - （要支援1） 1766円／月
 - （要支援2） 3620円／月
- 生活機能向上グループ活動加算 108円／月
- 若年性認知症利用者受入加算 108円／月
- サービス提供体制加算 I 要支援1：78円／月、要支援2：155円／月
- 食費負担 750円／回
- 活け花 600円／回
- お習字 100～200円／回
- オムツ代 50～100円

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9：00 ～ 16：10 【希望者は午前、午後が選べます】

《職員体制》

- 管理者 1名
- 生活相談員 2名
- 看護職員（兼機能訓練指導員） 3名
- 介護職員 18名
- 調理員 5名

《目標》

- あたたかい介護
- 制度に即した運営
- サービスの質の向上
- 情報発信
- 地域社会及び関係各所との連携
- 個人情報の適切な管理

《その他（特徴的な取組、PR等）》

昼食はおいしい選択食（主食、主菜）と、お楽しみ行事食を提供します。
笑顔で迎え、笑顔で送るデイサービス。「来てよかった」「また来たい」と笑顔で過ごしていただけるデイサービス。利用者や家族が安心して利用できるデイサービス。
私たちは、常にサービスの質の向上を意識して日々の業務に取り組めます。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
15	15	15	15	15	15
10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	15	15	15	15	15

平成29年度 「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,394,000	0	19,394,000		19,394,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	1,022,000		1,022,000		1,022,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	3,990,000		3,990,000		3,990,000	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	3,990,000	0	3,990,000	0	3,990,000	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	20,416,000	0	20,416,000	0	20,416,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,450,000	0	11,450,000	0	11,450,000	
本俸	9,726,775		9,726,775	0	9,726,775	
社会保険料	922,870		922,870	0	922,870	
手当計	668,680		668,680	0	668,680	
健康診断費	0		0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	3,435		3,435	0	3,435	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	128,240		128,240	0	128,240	
その他	0		0	0	0	
事務費	2,134,000	0	2,134,000	0	2,134,000	
旅費	10,000		10,000	0	10,000	
消耗品費	250,000		250,000	0	250,000	
会議ठीい費	20,000		20,000	0	20,000	
印刷製本費	150,000		150,000	0	150,000	
通信費	600,000		600,000	0	600,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	400,000		400,000	0	400,000	
図書購入費	50,000		50,000	0	50,000	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	150,000		150,000	0	150,000	
振込手数料	2,000		2,000	0	2,000	
リース料	30,000		30,000	0	30,000	
手数料	1,000		1,000	0	1,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	471,000		471,000	0	471,000	
事業費	542,000	0	542,000	0	542,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	500,000		500,000	0	500,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	5,374,000	0	5,374,000	0	5,374,000	
建築物・建築設備点検	2,261,000		2,261,000	0	2,261,000	指定額
光熱水費	1,860,000	0	1,860,000	0	1,860,000	
電気料金	558,000		558,000		558,000	
ガス料金	465,000		465,000		465,000	
水道料金	837,000		837,000		837,000	
清掃費	22,000		22,000	0	22,000	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	172,000		172,000	0	172,000	
設備保全費	494,000	0	494,000	0	494,000	
空調衛生設備保守	183,000		183,000	0	183,000	
消防設備保守	100,000		100,000	0	100,000	
電気設備保守	183,000		183,000	0	183,000	
害虫駆除清掃保守	28,000		28,000	0	28,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	91,000		91,000	0	91,000	
公租公課	916,000	0	916,000	0	916,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	916,000		916,000	0	916,000	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0		0		0	
支出合計	20,416,000	0	20,416,000	0	20,416,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	23,300,000		23,300,000		23,300,000	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	介護保険収入等充当分
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	390,000		390,000		390,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 ()	0		0		0	
その他 ()	0		0		0	
収入合計	29,630,000	0	29,630,000	0	29,630,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	23,850,000	0	23,850,000	0	23,850,000	
本俸	20,260,575		20,260,575		20,260,575	
社会保険料	1,922,310		1,922,310		1,922,310	
手当計	1,392,840		1,392,840		1,392,840	
健康診断費	0		0		0	
勤労者福祉共済掛金	7,155		7,155		7,155	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	267,120		267,120		267,120	
その他	0		0		0	
事務費	3,120,000	0	3,120,000	0	3,120,000	
旅費	200,000		200,000		200,000	
消耗品費	500,000		500,000		500,000	
会議ठीい費	0		0		0	
印刷製本費	300,000		300,000		300,000	
通信費	200,000		200,000		200,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	800,000		800,000		800,000	
図書購入費	200,000		200,000		200,000	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	400,000		400,000		400,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	0		0		0	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	510,000		510,000		510,000	
事業費	1,410,000	0	1,410,000	0	1,410,000	
協力医	630,000		630,000	0	630,000	指定額
介護予防事業	151,000		151,000	0	151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000	0	309,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	320,000		320,000	0	320,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,250,000	0	1,250,000	0	1,250,000	
建築物・建築設備点検	310,000		310,000	0	310,000	指定額
光熱水費	500,000	0	500,000	0	500,000	
電気料金	150,000		150,000		150,000	
ガス料金	125,000		125,000		125,000	
水道料金	225,000		225,000		225,000	
清掃費	6,000		6,000	0	6,000	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	
機械整備費	50,000		50,000	0	50,000	
設備保全費	228,000	0	228,000	0	228,000	
空調衛生設備保守	30,000		30,000	0	30,000	
消防設備保守	30,000		30,000	0	30,000	
電気設備保守	30,000		30,000	0	30,000	
害虫駆除清掃保守	8,000		8,000	0	8,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	130,000		130,000	0	130,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	30,000		30,000	0	30,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他 ()	0		0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	29,630,000	0	29,630,000	0	29,630,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高校生と地域の世代間交流	地域の高校生・地域	2,000	2,000	0	0	0	2,000
	15名						
	なし						
合同歌声喫茶2017 (参加費などは実行委員が管理)	一般	1,000	1,000	0	0	0	1,000
	470名						
	(500円)						
ひかりが丘 介護者のつどい 銀倶楽部	地域の介護者	0	0	0	0	0	0
	3名×12回						
	なし						
つどい(高齢者サロン)	地域の高齢者	0	0	0	0	0	0
	15名×6回						
	なし						
囲碁教室	地域	40,000	40,000	0	0	0	40,000
	8名×48回						
	なし						
古典を学ぶ会	地域	3,600	3,600	0	0	0	3,600
	10名×12回						
	なし						
にこにこ会 (経費は共催の団体にて管理)	地域の精神障害者	0	0	0	0	0	0
	10人×12回						
	(200円程度)						
子ども科学クラブ	地域の小学校3年生以上	88,500	80,000	0	55,000	33,000	500
	20名×11回						
	なし						
子どもクラブ	地域の小学生等	0	0	0	0	0	0
	随時(自由参加)						
	なし						
ひかりの会	地域の言語障害者	0	0	0	0	0	0
	5名×12回						
	なし						
癒しの音楽研究会	地域	0	0	0	0	0	0
	5名×12回						
	なし						
上白根地区民生委員懇談会	地域の民生委員	15,000	15,000	0	0	0	15,000
	7名×12回						
	なし						
旭北地区民生委員懇談会	地域の民生委員	2,000	2,000	0	0	0	2,000
	3名×1回						
	なし						

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
施設連絡会	地域の施設	0	0	0	0	0	0
	5名×8回						
	なし						
支えあい連絡会	連絡会メンバー	15,000	15,000	0	0	0	15,000
	35名×3回						
	なし						
夏休み子どもクラブ (手芸・科学・料理・ダンスなど)	地域の小学生以上	30,500	15,500	15,000	5,000	25,500	0
	15名×5種						
	200円程度						
旭ふれあい区民まつり (行政・PRコーナー出展事業)	一般	500	500	0	0	500	0
	約300名						
	なし						
ボランティア育成講座	事業者	0	0	0	0	0	0
	6名×2回						
	なし						
障害体験講座 (身体・視覚障害)	地域の小学3年生	0	0	0	0	0	0
	60名×2回						
	なし						
ボランティア交流会	地域のボランティア	20,000	20,000	0	0	20,000	0
	40名						
	なし						
第15回ひかり福祉フェスタ	地域	5,000	5,000	0	0	5,000	0
	約300名						
	なし						
権利擁護関係事業	地域	0	0	0	0	0	0
	20名×1～2回程度						
	なし						
消費者被害講座	地域	0	0	0	0	0	0
	20名×1～2回程度						
	なし						
ひかりが丘生活講座	地域	10,000	10,000	0	5,000	5,000	0
	20名×1～2回程度						
	なし						
健康吹き矢	地域	43,200	0	43,200	0	43,200	0
	10名×36回						
	200円						
みんなの庭	地域	30,000	30,000	0	0	30,000	0
	10名×2回						
	なし						
ひかりの輪 (輪投げ同好会)	地域	5,000	5,000	0	0	5,000	0
	10名×24回						
	なし						
歌謡体操	地域	129,600	129,600	0	0	129,600	0
	20名×24回						
	なし						

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
お守り&開運 グッズ工作講座	地域	10,000	10,000	0	0	10,000	0
	15名						
	なし						
ハマトレ体操	地域	0	0	0	0	0	0
	20名						
	なし						
折り紙講座	地域	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	10名						
	なし						
ミニ健康・介護予防講座	地域	0	0	0	0	0	0
	20名						
	なし						

平成29年度 自主事業計画書

横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高校生と地域の世代間交流	(目的) 地域の公園清掃を通して老人会との世代間交流を図る。 (内容) 地域の県立高校のイベントを利用して老人会の皆さんと公園清掃を行い、親睦の場とする。	年1回(秋頃)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶2017	(目的) 歌好きの方々が集まって仲間作りや健康作り。また外出の機会を作る。区内の全ケアプラザを紹介。 (内容) 2010年からスタートした合同歌声喫茶。毎年キャンセル待ちがでる程の人気事業に。2012年からは東日本大震災の募金活動も開始。集まったお金は職員で被災地に届けに行く。	年1回(5月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひかりが丘介護者のつどい銀俱樂部	(目的) 介護者の会。情報提供、虐待防止。場所はひかり商店街の喫茶かぶかぶ。 (内容) 介護者サロンとして、地域包括支援センター職員とサロン形式で雑談。親睦を深め虐待防止に繋げる事を継続していく。	第2金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つどい高齢者サロン	(目的) 西ひかりが丘団地自治会と上白根地区社協の高齢者及び地域の方のサロン。場所は西ひかりが丘団地集会所。 (内容) 地域包括支援センター職員がオブザーバーとして介護予防、認知症、消費生活など幅広く情報を提供を継続していく。	第3金曜日

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
囲碁教室	<p>(目的) 囲碁を通して高齢者・障害者等、地域の方の場所作りを目指している。</p> <p>(内容) 外出することが苦手な高年男性や精神障害の方などを中心に年齢や障害のあるなしを問わず、囲碁を通して地域の方との交流の場所とした。ボランティアは福祉囲碁協会。</p>	毎月第1、第3木曜 第2、第4水曜

事業名	目的・内容	実施時期・回数
古典を学ぶ会	<p>(目的) 高齢や障害で他の方と接する機会の少ない方が、日本の古典を読むことを通して、日常生活を捉えなおす機会を持ち、話し合う場として提供する。</p> <p>(内容) 講師はご住職の方による、往生要集の購読など。</p>	第4木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ会	<p>(目的) 精神障害の方の居場所作り。</p> <p>(内容) 会員同士で年間の計画をたて、食事会や外出の機会を設けることで社会性向上や日常生活に寄与する。旭区地域生活支援拠点ほっとぽっと【共に歩む市民の会】との共催。</p>	第4木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども科学クラブ	<p>(目的) 地域の小学生の3年～6年生までを対象に、様々な科学おもちゃ工作を通じて科学的興味を育てる。</p> <p>(内容) 講師の科学博物館ボランティアの藤野氏に毎月違う工作を指導して頂く。地域のボランティアも2、3名協力。</p>	第3水曜日

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子どもクラブ	(目的) 放課後や休日のこども達の居場所作り。 (内容) エントランスを勉強や読書に開放している。	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひかりの会	(目的) 脳血管障害による言語障害の方のための親睦のサロン。 (内容) 月に一度仲間と親睦を深め、多少の言語リハビリも行うサロン活動。	第3火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
癒しの音楽研究会	(目的) 地域住民の閉じこもり防止、ストレス解消、心の安定を図る。 (内容) 癒し系の音楽（ヒーリング音楽、クラシック、オルゴール等）やリラックスできるような音楽を聴く、あるいは音楽をBGMにしてリラックスした状態で参加者がコミュニケーションをとる。癒しの雰囲気を中心に共同作業も検討。	第2日曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根地区 民生委員懇談会	(目的) 地域の民生・児童委員とケアプラザ職員の情報交換・研修等実施による連携強化。 (内容) 市営・UR団地の民生・児童委員と地域交流、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所のメンバーで情報交換・連携強化、研修等を行っている。旭区高齢障害支援課の地区担当が参加することもある。勉強会の内容によっては外部講師を招くこともある。	第2金曜日

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭北地区 民生委員懇談会	<p>(目的) 団地外の旭北地区の民生委員(3名)との情報交換・課題検討等による連携強化。</p> <p>(内容) 当該地区の民生委員3名、旭区役所地区担当ケースワーカー・保健師、地域活動交流、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所ケアマネジャーのメンバーで実施。地域の現状や民生委員の活動についての悩みや課題の共有を行い、解決策や今後必要な活動等検討を行う。</p>	年1回程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
施設連絡会	<p>(目的) 地域の介護保険施設の相談員と定期的に情報交換を行い、地域課題の抽出・対応の検討などを行う。</p> <p>(内容) 地域の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、高齢者グループホームの相談員等との情報交換や地域課題の抽出・対応の検討、ボランティア支援などを行う。</p>	第3火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
支えあい連絡会	<p>(目的) 地域施設連絡会、ひかりネット、SOSローカルネット、あんしんネットワークなどの活動を統括して地域の福祉につなげる。旭区と地域福祉保健計画推進についても、検討する機会。</p> <p>(内容) 地域の状況にあったテーマ・時期に会議形式で行う</p>	不定期 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み 子どもクラブ	<p>(目的) 小学生対象の居場所作りとしてはじめたが、現在は夏休み中のお楽しみイベント(科学クラブ、クッキー教室、手芸教室など)で恒例となっている。</p> <p>(内容) 定期的に行っている子ども科学クラブに加え、クッキーなどの手作り教室を開催予定</p>	7月、8月の夏休み期間中実施

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭ふれあい区民祭り 行政・PRコーナー出展事業（旭区ケアプラザ共催）	（目的）区内ケアプラザのPR （内容）区内ケアプラザの周知のため、行政PRコーナーにて行政計画周知のためのPR活動の支援を行う。	10月予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア育成講座	（目的）高齢・障害者の多い地域で車椅子や電動カート等を利用している方の理解を深める。 （内容）高齢者疑似体験と車椅子の基本操作の体験を行う。	夏頃開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害体験講座（身体・視覚障害）	（目的）福祉教育の一環として小学校を対象に障害体験や障害者の話を聞き障害に対する理解を深める。 （内容）アイマスクや車椅子などによる障害体験、視覚障害者へのインタビューを行う。	年1回 （時期は不定期）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	（目的）ボランティア登録している団体・個人が集まり活動の紹介、交流を通して情報交換。 （内容）アンケート実施しケアプラザでの活動に関して意見を頂き、情報収集。	年1回 （3月予定）

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
第15回 ひかり福祉 フェスタ	<p>(目的) 地域の福祉・障害に関わる団体の連携を強める。恒例行事を行うことでケアプラザへの関心を高め、利用をしやすくする狙い。</p> <p>(内容) グループがバザーや催しを通じて地域との連携を深める。実行委員会カブカブほかと共催、地域包括支援センターでは介護予防の啓発、地域活動交流では催しものにボランティアをコーディネート。</p>	年1回 (11月予定)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護 関係事業	<p>(目的) 権利擁護に関する団体等と連携して、成年後見人制度などの情報提供を行い、知識・意識に残して頂く事で、必要時に活用が行えるようにしていく</p> <p>(内容) 講演会・相談会等</p>	年1～2回程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
消費者被害講座	<p>(目的) 高齢者だけでなく、地域の方々の消費者を防ぐため、関係機関と連携し情報の提供を行うことで、文字だけでは伝わらない生の声として、意識に残るように取り組む</p> <p>(内容) 悪質商法の手口や対処法についての講演等</p>	年1～2回程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひかりが丘 生活講座	<p>(目的) 生活に関する地域の声（ニーズ）を収集し、その内容の講座などを行う事で、地域の方々の興味や、やる気の増進につながる一助となれることが目的。</p> <p>(内容) 生活に役立つ様な講演会・講座（例：終活・介護予防・認知症・防犯等）の開催の要望に応じて出前講座も行う。</p>	年1～2回程度

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康 吹き矢	<p>(目的) 地域の高齢者や閉じこもりの男性等の外出のきっかけづくり、また吹き矢による複式呼吸トレーニングと腹筋・口の周りの筋肉強化による健康増進</p> <p>(内容) 呼吸法を意識しながら、ゲームを楽しむ</p>	第1水曜日・第3月曜日・第4土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなの庭	<p>(目的) 園芸を通じた世代間交流。また、ボランティアとして参加して頂くことで、生き甲斐の一助となるような機会の提供</p> <p>(内容) ケアプラザの庭の一部を開放し、季節を感じられる花と緑を年に2～4回植え替え、随時手入れに参加していただく。募集は子どもから高齢者までの地域の方すべて</p>	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひかりの輪 (わなげ同好会)	<p>(目的) 輪投げのゲームを楽しむことで外出のきっかけ、世代間交流となることを目的とする。</p> <p>(内容) 地域の方から寄付された輪投げの道具を利用し、グループ対抗の輪投げのゲームを行う。募集は子どもから高齢者までの地域の方すべて</p>	第1・第3日曜日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌謡体操	<p>(目的) 健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場を機会を増やしていく</p> <p>(内容) カラオケ機械のライブDAMの歌謡体操を主に、歌いながら体を動かしていけるようにする。またライブDAMだけに捕らわれず楽しく続けられるようDVD(四季の歌)も取り入れ、参加者に自ら選択してメニューを組み立てていく自主性のきっかけとして頂く</p>	第1・3月曜日

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お守り&開運 グッズ工作講座	<p>(目的) 地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。</p> <p>(内容) 工作を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とすることを狙いとして開催。</p>	不定期

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ハマトレ体操	<p>(目的) ハマトレ体操を定期的に行う事で、いつまでも元気に歩ける体づくりを目指します</p> <p>(内容) 猫背改善、傾き改善、股関節伸展、足・足関節、バランスの歩くに関わる5つの要素に着目してトレーニングを行います。</p>	第2月曜日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
折り紙講座	<p>(目的) 地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。</p> <p>(内容) 折り紙を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とすることを狙いとして開催。</p>	6月29日(木) 15:30~

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミニ健康・介護 予防講座	<p>(目的) 自身の健康管理及び介護予防について興味を持ってもらい、健康教室や介護予防事業等への参加へとつなげる。</p> <p>(内容) 昼食会やサロン等の参加者に向けて短い時間でポイントを伝える。適宜関連事業への案内も行う。</p>	不定期